

見えない危険



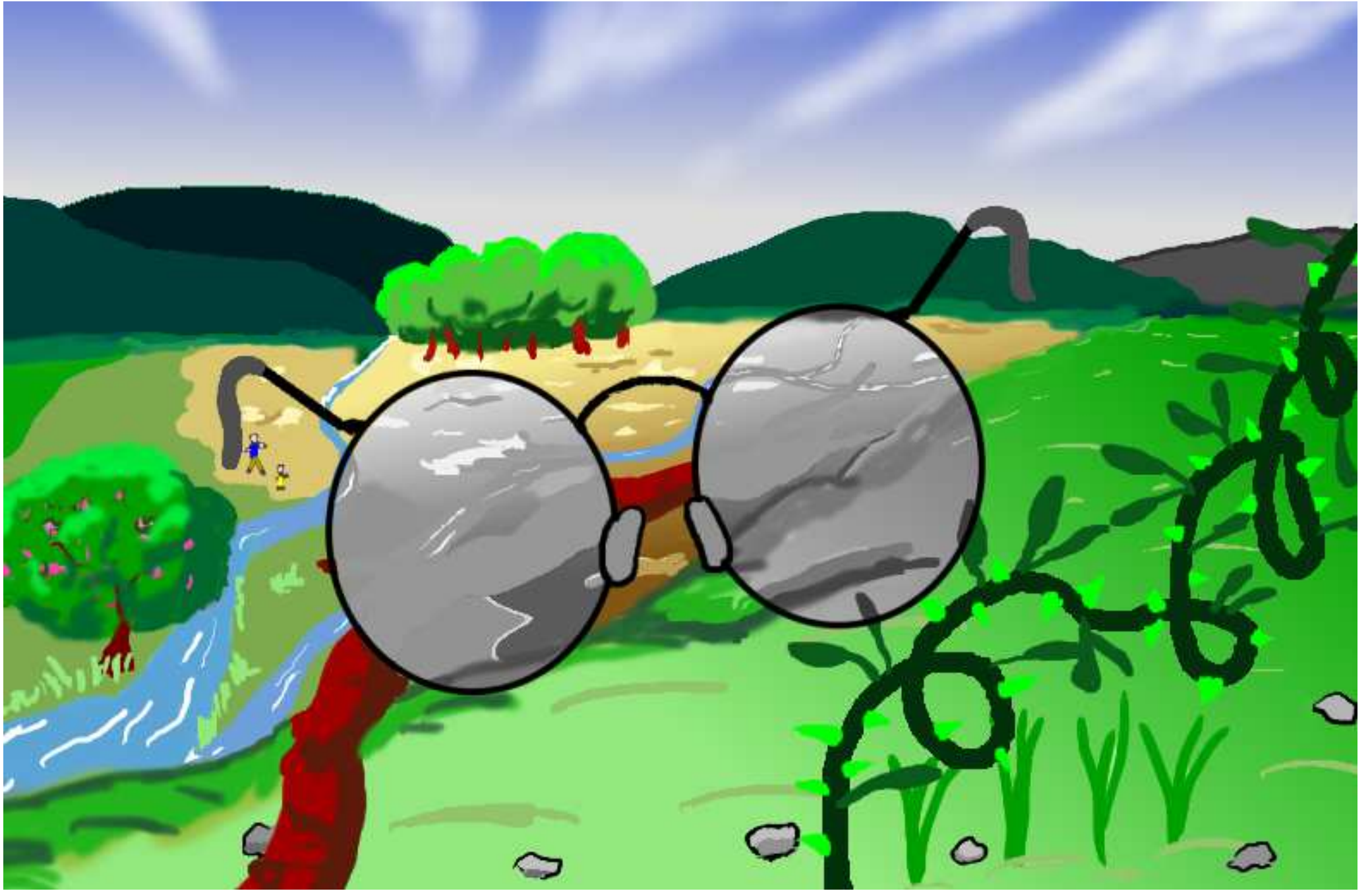
東郷 潤

筆者注；

この絵本は心理的な錯覚、特に善悪中毒をテーマとするもので、色覚異常(色覚特性)について描くものではありません。

なお、白黒となるメガネについては、私どもの絵本「魔法のメガネ」をご参照下さい。

あるところに、いつもメガネを外さない女性がいました。…彼女のメガネは全ての色を白黒にしてしまう、魔法のメガネです。



歩いていると、突然、何かにぶつかりました。



木の枝があったのですね！



茶色い木の枝は、色を失うメガネのせいで、時々、見えにくいことがあるのです。

今度は突然、足に激しい痛みを感じました。



トゲに刺されたのですね。



いた〜い!

緑のトゲは、色を失うメガネのせい
で、たまに見えにくいことがあるよ
うです。

突然、何かに落っこちました。



川が流れていたのですね。



**青い水は、色を失うメガネのせいで、
時折、見えにくいことがあるのです。**

**今度は、何かやわらかいものを踏み
ました。**



子どもが遊んでいたのですね。



子供の姿は、色を失うメガネのせい
で、時折、見えにくいことがあるよ
うです。

今度は、男の人が殴りかかってきま
した。



突然、襲われるなんて、なんて恐ろしい世界でしょう！

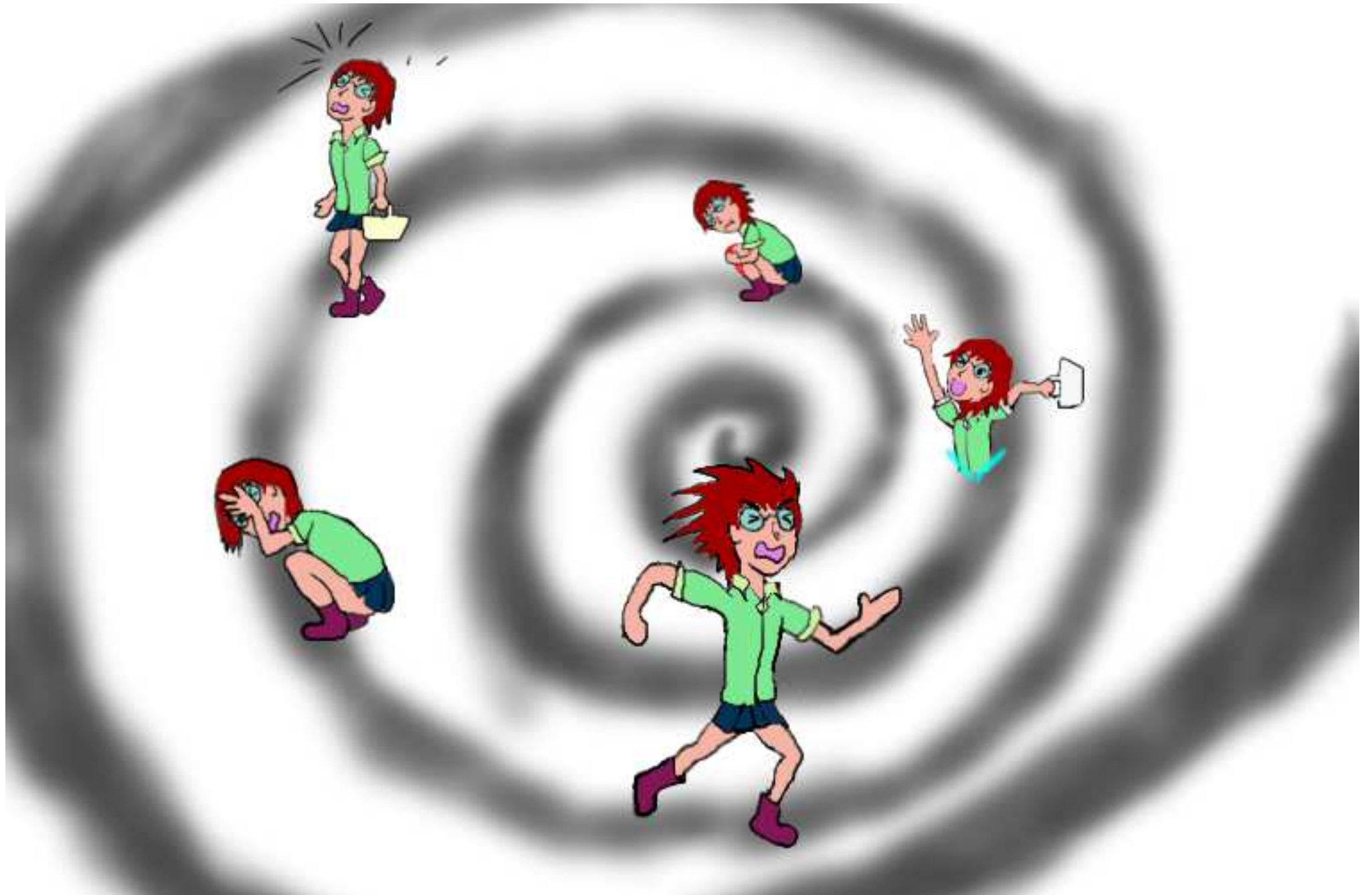
子どもを踏まれた親が、怒っていたのですね。

うちの子を
踏みつけるなんて！



他人の気持ちは、色を失うメガネのせいで、彼女には分かりづらいことがあるようです。

こんな風に彼女の人生は、辛いことの繰り返しです。



でも、彼女にその理由は分かりません。色を失うメガネのせいで、何がどうなっているのか、さっぱり理解できないのです。

彼女は、今日も怯えています。



あとがき —絵本「見えない危険」

絵本「見えない危険」は、人々の誤解・争いの原因となる、善悪で錯覚する心理をテーマとしたものです。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です
(商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます)。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

www.j15.org

©Jun Togo 2009